

手足口病の流行拡大中

今年度に入り、手足口病の流行が拡大し、過去10年で最も高い定点当たりの患者数を更新しています。

2019年度	14.91	⇒	14.89	⇒	18.57
	(7/8~7/14)		(7/15~7/21)		(7/22~7/28)
2018年度	1.63	⇒	1.58	⇒	1.06
	(7/9~7/15)		(7/16~7/22)		(7/23~7/29)

※定点当たりの患者数：県内の定点小児科（89 機関）の1 医療機関当たりの1 週間の患者数

- ・患者の約半数は2歳以下の乳幼児ですが、大人も感染します。
- ・3~5日の潜伏期を経て、口腔内、手のひら、足の裏や甲などに水疱性発疹が現れます。
- ・就業制限はありません。
- ・口からの飛沫感染 → マスク着用
- ・便や水疱内容物からの接触感染 → 手袋着用、手指衛生
(ウイルスの便への排出は治癒後1ヶ月程度持続するため、トイレ後の手洗いも重要です)

感染対策でお困りの際は、感染管理室 内線 (2081) までご連絡ください。